

広報

おばま

2016

6

「夢、無限大」
感動おばま



《表紙》

今富小学校と市、矢代観光協会が連携して、「小浜の海」をテーマにした総合学習を初めて実施。同校5年生51人が、地域の漁業について学びました。漁船上でのタコかご漁体験では、10個のかごから、マダコ10匹を水揚げしました。
(矢代・5月12日)

《今月の題字》
おがわしおのり
今富小学校6年 小川菜さん

【特集】地域の「宝」を掘り起こせ！



「お城まつり」で、一番町区の雲浜獅子について聞き取り調査をする地域おこし協力隊の川股隊員（広峰神社・5月2日）



遠敷地区ふるさとづくり推進会の仲野實会長（71歳・忠野・左）と地域おこし協力隊の橋本隊員（仲野さん宅「えびね苑」・5月11日）



地域おこし協力隊・文化課
かわまた ひろゆき
川股 寛亨（27歳・岡山県出身）

龍谷大学大学院で儒学や東洋学を専門に学んできた川股隊員。現在も、活動のかたわら、論文の執筆を行っています。小浜の地域おこし協力隊には、大学院の先生から紹介を受けて、申し込みました。4月からは、役所と市立図書館で、小浜に残る古文書の翻刻（原本通り活字におこす作業）に取り組んでいます。「仕事では、貴重な資料を読めるので、やりがいがあります」と、話す川股隊員。「古文書を読み解くことで、知られていなかった歴史や文化について明らかにしたいです」と、意欲をみせます。地域の魅力を聞くと、「研究者の間では、小浜は文化財や民俗芸能の宝庫だと認識されています。わたしもそれを実感しています」と、笑顔をみせました。

小浜は文化財や民俗芸能の宝庫



地域おこし協力隊・農林水産課
はしもと しょう
橋本 翔（28歳・愛知県出身）

愛知出身の橋本隊員は、県立大学小浜キャンパスで学生時代を過ごし、市内のホテルに就職。その後、愛知の実家へ戻りますが、小浜への愛着を捨てきれずに、協力隊にチャレンジ。4月から、葉草の栽培や商品化に取り組んでいます。「自然が美しく、水や食べ物もおいしい小浜は、とても住みやすい環境。ここに帰ってきて、何か地域の役に立てることをしたかったです」と、話します。遠敷地区ふるさとづくり推進会の仲野会長から、忠野区の空き家を紹介されて、4月に移住。自宅横の畑でも、葉草栽培を始めました。仲野会長は、「集落に活気や刺激が生まれる」と、期待を込め、橋本隊員も、「地域の中で自分も楽しめるよう頑張りたいです」と、笑顔で返しました。

地域の中で自分も楽しみたい！

協力隊のお仕事

1年目

文化課
かわまた 隊員



酒井家文庫や順造館関係など、小浜に残る古文書を貴重なものから順番に整理をして、今後、解読を進めていく予定です。

1年目

農林水産課
はしもと 隊員



若狭東高校との連携によるコウギクの栽培をはじめ、各種葉草の栽培や商品化の検討、生産のモデルケース確立に取り組みます。

「地域おこし協力隊」とは

平成21年からはじまった都市地域から地方に生活の拠点を移した人を、地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱する制度です。隊員は、一定期間（おおむね1年以上3年以下）、地域に居住して活動を行いながら、定住・定着を図ります。現在、小浜では4人の隊員が活動しています。

【地域協力活動】

- ・地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援
- ・農林水産業への従事
- ・住民の生活支援 など

【協力隊マメ知識】

- ・隊員の約4割は女性
- ・隊員の約8割が20〜30代
- ・任期終了後、約6割が同じ地域に定住

※総務省調。27年3月時点

相澤 「協力隊として赴任した2年前から、加斗地区に住んでいます。木村さんは、早い段階で知り合い、よく一緒に活動しています」

木村 「相澤さんには、行政との「つなぎ役」を担っていただいています。おかげで活動にも幅が出てきました。移住者を放っておくと、地域の中に埋もれてしまいがちです。みんなで顔を合わせる機会に、積極的に誘うことが大切だと思います」

相澤 「加斗に移住した日に、区の常会に参加しました。常会では、皆さんに地域のことを教えてもらっています。人と人との輪をどんどん広げていきたいですね」

右/
地域おこし協力隊・商工観光課
相澤 弘美 (39歳・宮城県出身)

左/
加斗クラブ代表
木村 武史さん (35歳・上加斗)

「地域おこし」って面白い！

木村 「外からの視線を取り入れることで地域がより輝きます。そのためには、移住者を受け入れる心づもりや体制を、あらかじめ整えておくことも大事ですね」

相澤 「協力隊の活動を始めたときは、何か新しいことをしようとしていました。しかし、それだけでは、小浜本来の魅力が埋もれていくことに気がきました。この土地にある宝や魅力を、主役である地域の人と一緒に、内外へ広めるお手伝いをしていきたいです」

木村 「地域住民と協力隊が強く結びつくように、交流する場を作っていきたくいです。行政にも地域に協力隊を送り込んでもらえるような後押しをしてもらえるとうれしいですね」

協力隊のお仕事

3年目

観光ツアーの企画やアテンド、市外での宣伝活動、移住定住に向けた働きかけ、地域活性化イベントの実施などに取り組んでいます。

商工観光課
相澤 隊員

2年目

インバウンド（外国からの訪日観光客）政策の推進や、観光イベントの企画・運営、観光資源の発掘、外部への情報発信もしています。

商工観光課
原 隊員

萩原 「原さんとは、わたしが所属する小浜の劇団が、去年公演した梅田雲浜の演劇を通して知り合いました」

原 「小浜でお世話になっている人に誘われて、舞台のエキストラで参加したのが、きっかけです。地域になじみたいと思い、思い切って飛び込んだら、皆さん優しく受け入れてくれました」

萩原 「若い人が入ってくれてうれしかったです。今後、色んな視点から活動を盛り上げてもらえると期待しています。協力隊は、地域にそと寄り添ってくれる印象。行政のことにも詳しく、相談もしやすいので、とても親しみがもてます」

左/
地域おこし協力隊・商工観光課
原 寿鶴 (24歳・東京都出身)

右/
劇団「久須夜」団員
萩原 有紗さん (31歳・高浜町)

人を通じて地域とつながる

原 「人と人とのつながりを重視して活動していきたいです。皆さんとの交流を通して、地域ともつながっていくことを実感しています」

萩原 「協力隊の存在を、もっと多くの人に知ってほしいですね。相談や協力ももちろん、難しい手続きも必要ありませんし、積極的に活動してくれそうです」

原 「何でも気軽に相談していただけるような、市役所の入口的存在になれるようにがんばります」

萩原 「原さんにも参加してもらって、7月に、地域の文化団体の力を結集した公演を旭座で開催します。皆さんぜひお越しください」

「ASAHI-ZA」
芝居、音楽、ダンス、落語などが繰り広げられるエンターテインメントショー。
とき 7月3日 @ 11時～15時
ところ 旭座(白鬚)
観劇料 2千円

協力隊と地域との交流を

地域おこし協力隊の皆さんは、全国の自治体の中から小浜を「第二のふるさと」として、任務にとても精力的に取り組んでいます。本年度からは、観光をはじめ、農業や文化など活動分野も広がり、ますます地域の皆さんと接する機会が多くなってきます。

隊員は、知らない土地に移り住んだばかりで、地域の慣習や生活様式などにも慣れず、顔見知りも少ないなど、まだまだ不安な部分も多いと思います。

地域おこし活動を進めるには、「人とのつながり」は欠かせません。隊員を見かけましたら、ぜひ、気軽に声をかけてください。



人口増未来創造課
佐藤 善一 主査

各国の選挙権年齢	
16歳	アルゼンチン、オーストリア、ブラジルなど
17歳	東ティモールなど
18歳	アメリカ、イタリア、フランス、ロシアなど
19歳	韓国
20歳	カメルーン、日本（今回18歳に引き下げ）
21歳	オマーン、マレーシア、シンガポールなど

世界でも18歳以上が主流
 国立国会図書館（平成26年）の調査によると、世界191の国・地域のうち、その9割近くが日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。
 また、ヨーロッパの国々を中心にさらに引き下げを進める動きが活発化しています。

18歳からの選挙が、今、始まる！ 選挙権年齢が18歳以上になりました

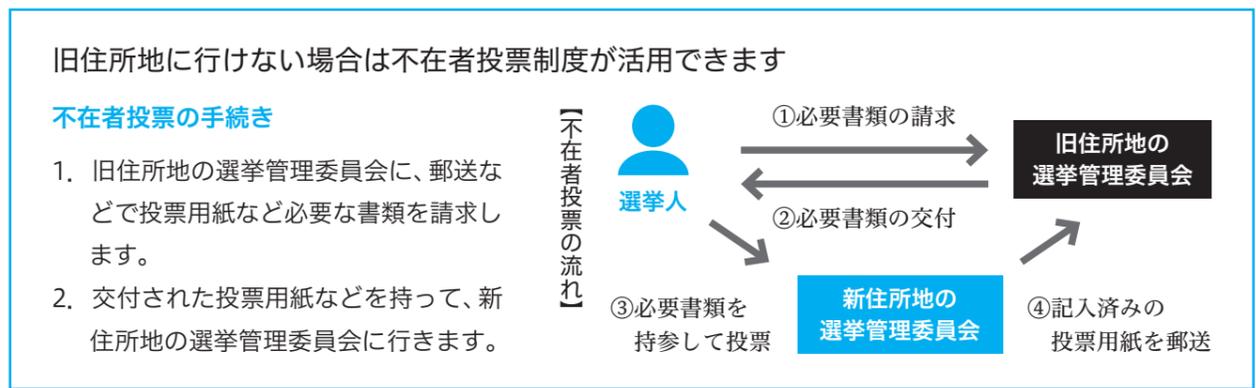
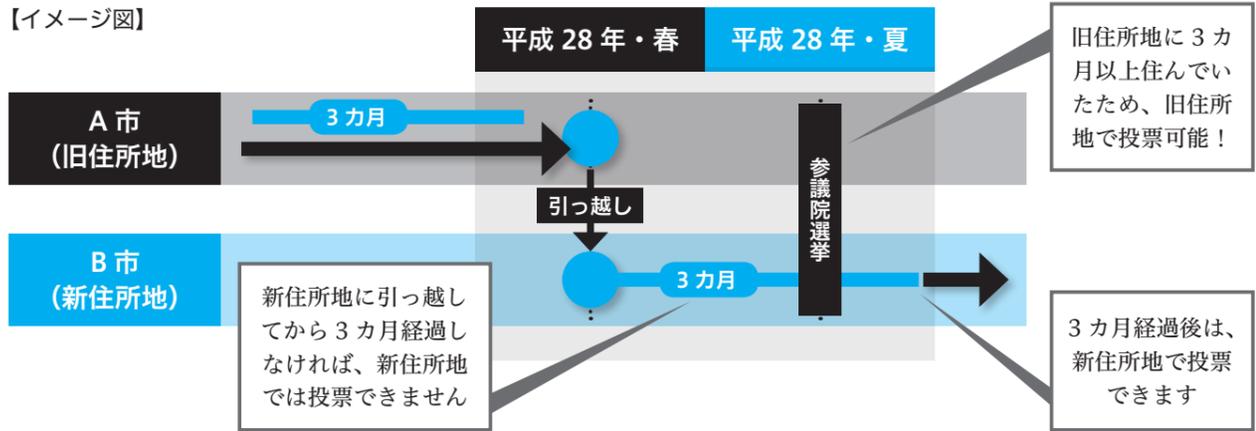


選挙権年齢が、平成27年6月の公職選挙法の改正により、これまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられることになりました。
 これにより、平成28年6月19日の後に公示される国政選挙の公示日以後に公示・告示される選挙では、18歳、19歳の人たちも「有権者」として、投票できることとなります。

選挙人名簿の登録制度が改正されました

選挙で投票するには
 選挙で投票するには、住民票のある市町村の「選挙人名簿」に登録される必要があります。
 引っ越しをした場合は、新住所地に転入の届出をした日から3か月以上住まなければ、「選挙人名簿」に登録されません。そのため、選挙で投票することもできませんでした。
旧住所地での投票が可能に
 公職選挙法の改正により、いずれの「選挙人名簿」にも登録されておらず、転入前の旧住所地に3か月以上住んでいた場合は、旧住所地の選挙人名簿に登録され、旧住所地で投票できるようになりました。
 新たに有権者となる18、19歳の人が、春に引っ越しをした場合、新住所地では投票できない可能性があります。しかし、旧住所地に3か月以上住んでいた場合は、夏の選挙では旧住所地で投票することができます。

なぜ、今、引き下げが
 なぜ、今、選挙権年齢の「18歳」への引き下げが行われたのでしょうか。
 それは、少子高齢化が進むなかで未来の日本に生きていく若い世代に、日本のあり方を決める政治に関与してもらいたい、という意図があるからです。
 いま日本は、少子高齢化のため、若年層の人口が減っています。このため若年層の有権者数が少なくなり、若年層の意見が国や政治に反映されにくいこととなります。
新たな有権者240万人
 そこで、若い世代の意見がもっと政治に反映されるように選挙権年齢を引き下げ、より多くの若い人たちが選挙で投票できるようにしました。
 「18歳選挙権」により、18歳、19歳の新たな有権者は全国で約240万人を数え、県内でも約1万6千人が加わるようになります。



■転載・引用：政府公報オンライン「自らの意見を一票に！『18歳選挙』が始まります。」

インタビュー



若狭東高校3年 仲野 珠里亜 さん(18歳)

同世代みんなで投票を
 18歳は、進路や進学が決まる年です。奨学金など若い世代への補助や、県外へ行ってきやすくなるサポートなどが、選挙で投票する人を選ぶ基準の一つになると思います。
 一方で、自分の一票で国の政治が変わるのか、まだ実感がわきません。同世代の人が、一緒に投票しなければ、何も変わらないと思います。
 今までなじみがなかった投票所へも、若者がもっと投票に行きやすい環境を作ってもらえるといいなと思います。



若狭高校3年 畠中 加愛 くん(18歳)

若い世代の候補者も期待
 学校生活の中では、政治を身近に感じにくく、話題に上らないのが、正直なところだと思います。全校生徒対象に選挙への説明がありました。授業などで学んだほうが、より興味を持てると思います。
 今年は、みんな好奇心で投票するかもしれませんが、国が何も変わらないと、関心が薄れてしまうのではないかと思います。
 投票だけでなく、若い世代の中から選挙への立候補者が出て、自分たちの声を代弁してくれることを期待しています。

平成 27 年度 下半期の財政事情をお知らせします

【平成28年3月31日現在】

一般会計（歳入） (単位：万円・%)

科目	予算額	収入済額 (うち下半期分)	執行率
市税	35 億 3,822	34 億 4,135 (15 億 5,453)	97.3
地方譲与税	1 億 4,176	1 億 4,176 (1 億 47)	100.0
利子割交付金	798	798 (439)	100.0
配当割交付金	2,492	2,492 (2,030)	100.0
株式等譲渡所得割交付金	2,178	2,178 (2,178)	100.0
地方消費税交付金	6 億 1,681	6 億 1,681 (2 億 5,726)	100.0
自動車取得税交付金	3,038	3,038 (2,107)	100.0
地方特例交付金	1,233	1,233 (0)	100.0
地方交付税	50 億 9,154	50 億 9,154 (18 億 7,203)	100.0
交通安全対策特別交付金	368	368 (177)	100.0
分担金及び負担金	3 億 3,046	2 億 7,517 (1 億 7,922)	83.3
使用料及び手数料	2 億 1,642	2 億 508 (1 億 408)	94.8
国庫支出金	23 億 5,376	17 億 5,609 (11 億 652)	74.6
県支出金	17 億 6,414	6 億 6,311 (5 億 3,936)	37.6
財産収入	2,669	2,751 (2,294)	103.1
寄附金	1 億 7,572	1 億 5,352 (1 億 4,936)	87.4
繰入金	8,611	8,599 (8,599)	99.9
繰越金	4 億 9,529	4 億 9,534 (0)	100.0
諸収入	6 億 3,258	4 億 6,204 (3 億 9,292)	73.0
市債	28 億 5,406	10 億 2,740 (2 億 2,740)	36.0
合計	184 億 2,463	145 億 4,377 (66 億 6,138)	78.9

一般会計（歳出） (単位：万円・%)

科目	予算額	支出済額 (うち下半期分)	執行率
議会費	1 億 9,829	1 億 9,327 (8,931)	97.5
総務費	31 億 2,479	27 億 2,337 (12 億 301)	87.2
民生費	46 億 2,366	36 億 1,688 (21 億 1,263)	78.2
衛生費	19 億 3,145	15 億 2,710 (10 億 510)	79.1
労働費	1 億 9,527	1 億 6,733 (1,048)	85.7
農林水産業費	10 億 2,513	6 億 1,174 (4 億 2,807)	59.7
商工費	8 億 7,946	6 億 1,136 (1 億 7,299)	69.5
土木費	21 億 4,440	8 億 9,737 (5 億 8,755)	41.8
消防費	5 億 1,788	5 億 1,765 (2 億 692)	100.0
教育費	20 億 6,693	14 億 5,367 (7 億 7,217)	70.3
災害復旧費	8,512	6,892 (2,535)	81.0
公債費	16 億 2,349	16 億 1,581 (8 億 2,275)	99.5
予備費	876	0 (0)	0.0
合計	184 億 2,463	140 億 447 (74 億 3,635)	76.0

特別会計 (単位：万円・%)

会計名	予算額	収入		支出	
		収入済額 (うち下半期分)	執行率	支出済額 (うち下半期分)	執行率
国民健康保険事業	37 億 1,780	31 億 3,803 (17 億 8,440)	84.4	33 億 3,234 (18 億 1,545)	89.6
後期高齢者医療	3 億 3,958	3 億 1,892 (2 億 1,653)	93.9	2 億 9,344 (2 億 2,739)	86.4
介護保険事業	32 億 1,311	26 億 3,896 (13 億 4,169)	82.1	29 億 632 (16 億 289)	90.5
簡易水道事業	8,432	7,021 (3,896)	83.3	7,370 (4,565)	87.4
下水道事業	17 億 3,730	5 億 9,470 (2 億 9,259)	34.2	16 億 2,040 (8 億 4,887)	93.3
農業集落排水事業	4 億 5,918	2 億 5,083 (1 億 3,562)	54.6	4 億 4,499 (2 億 2,967)	96.9
漁業集落環境整備事業	5,264	4,014 (2,260)	76.2	4,615 (2,591)	87.7
加斗財産区運営事業	32	32 (1)	100.3	28 (27)	88.0

企業会計（水道事業） (単位：万円・%)

	収入			支出		
	予算額	収入済額 (うち下半期分)	執行率	予算額	支出済額 (うち下半期分)	執行率
収益的収支	5 億 812	5 億 981 (2 億 9,670)	100.3	4 億 3,171	4 億 3,144 (3 億 2,744)	99.9
資本的収支	2 億 5,128	2 億 1,491 (2 億 1,491)	85.5	4 億 6,999	4 億 2,593 (2 億 8,565)	90.6

平成 27 年度下半期 (10 月 1 日～3 月 31 日) の市予算の執行状況などをお知らせします。

※数値はすべて表示桁未満を四捨五入していますので、合計などが合わない場合があります

■問い合わせ 財政課 ☎ 内線 333

市有財産の現在高

土地	1,102,739㎡
建物	169,270㎡
山林	2,878,700㎡
有価証券	9,300 万円
出資による権利	1 億 1,790 万円
基金	
一般会計	24 億 6,174 万円
特別会計	4 億 9,942 万円

市債、一時借入金の現在高

一般会計	150 億 4,929 万円
特別会計	175 億 3,631 万円
企業会計	18 億 7,299 万円
一時借入金	0 万円

市民 1 人当たりで換算しました

※ 3 月 31 日現在の人口 30,227 人

市民 1 人当たりの **税負担額** … 117,055 円

市民 1 人当たり **に使われるお金** … 609,542 円

市民 1 人当たりの **市債残高** … 497,876 円

市民 1 人当たりの **基金残高** … 81,442 円

(単位：万円・%)

平成28年 全国広報コンクールで「広報おばま」が初のダブル受賞



11月号で特集した買物ボランティアの皆さん。右から、会長の松宮恵子さん、前田静江さん、赤尾雅子さん、塚本信枝さん。会員数 17 人。

広報に掲載されて、多くの人に活動を知ってもらったことができました。参加者を増やして、障がいを持った人への支援を充実させたいです。お心のある人は、ぜひ一度体験に来てください



全国の自治体が参加する全国広報コンクールで、平成27年7月号が一枚写真の部で2席、11月号が広報紙・市の部で入選となりました。市民の活動や子どもたちの笑顔が高い評価を受けました。

「人並みの生活はできない」と、あきらめていたが、買物ボランティアの皆さんのおかげで実現しました

ボランティアや福祉の輪を地域に広げて、平等でより良い社会を目指しています



11月号で特集した第三やすらぎの郷の皆さん。右から、施設長の天下良一さん、利用者の柳本豊嗣さん、小堂博文さん。

おじいちゃん、おばあちゃんの作る国富のお米が大好きです！

受賞を聞いてびっくりしました。国富は自然がきれいで空気がおいしいです

7月号の表紙「田植え体験」を飾った国富小学校6年の川端仁大くん(写真右)と下野桃歌さん。

広報紙の部 受賞は 31 年振り

全国広報コンクール広報紙・市の部の入選は、昭和 60 年以來 31 年振り。写真の部の入賞は、昨年に続いて 2 年連続。両部門の同時受賞は初となりました。

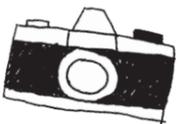
広報アンケートに協力を

毎年 7 月に市民千人を対象に、広報アンケートを実施し、寄せられた意見を紙面に反映しています。皆さんのご協力をお願いします。

広報おばまは、「市民が輝く広報紙」を目指しています。

市では、市民の皆さんに必要な情報を伝えるとともに、市民協働で「市民が輝く広報紙」づくりを目指しています。毎月の広報の発行をはじめ、広報紙の電子書籍化や、フェイスブック、ツイッターなどソーシャルメディアも活用し、あらゆる媒体を通じて、情報を発信しています。今後も地域で輝く皆さんの姿を、取材し続けていきますので、ご協力をお願いします。





旭座で講師囲みまちづくり談義

旭座活用を探るシンポジウムを開催。第2部では、33人が弁当付きで意見交換(旭座・5月2日)

泥だらけでトライ!

水田をフィールドに「たんぼラグビー」を県内初開催。14チーム80人が参加(高塚・5月15日)



釜炒り茶づくりに茶レンジ

遠敷地区の茶畑で、地域住民30人が茶摘みなど、伝統の釜炒り茶の製法を体験(池田・5月15日)



みこしの宮出し勇壮に

2年に1度の出番年となった西津祭、氏子の男衆が勇壮にみこしを宮出し(日吉神社・5月4日)



再会を喜びみんなで歓迎

ヤギ2頭を迎える子どもたち。昨年に続き、校内の放牧場で飼育開始(国富小学校・5月10日)



「看護の日」灯火に誓い

看護学生が「痛みを感じる手と目を養いたい」と決意を新たに(杉田玄白記念公立小浜病院・5月9日)



映像の力で小浜の魅力を発信

越前屋俵太さんに御食国大使を委嘱。同氏が監督した食育PR動画も発表(食文化館・4月22日)



若狭ふぐの品質向上目指し歯切り

若狭高校海洋科学科2年の22人が、体長約6㍎の稚魚の歯切りを体験(県栽培漁業センター・4月22日)

まちの駅オープン音楽で盛り上げ

音楽イベント「Petit Cantare」が開催。市内で活動するバンド10組が出演(酒井・5月7日)



災害復興の一助に

赤十字奉仕団員が熊本地震への義援金を小浜市地区長の市長に受け渡し(市庁舎・4月28日)



シーズン控え南川でアユ放流

口名田小の1・2年生32人が、「大きくなあれ」と、稚アユ3,000匹を放流(下中井・4月28日)

活気ある地域づくりを考えよう

児童に小浜のまちづくりを考えてもらおうと西津・遠敷小学校で市長が出前授業(北塩屋・4月25日)



◆お知らせ◆

市長選挙立候補予定者説明会
選挙管理委員会事務局☎内線 496

7月24日㊤執行予定の小浜市長選挙の立候補予定者説明会を開きます。

立候補を予定している人、または代理人は出席してください。

とき 6月24日㊤
9時30分～

ところ 文化会館(大手町)

その他 参加する人は筆記用具を持参してください

28年経済センサス-活動調査
市民協働課☎64・6009

6月1日を調査日として、「平成28年経済センサス-活動調査」を実施します。

事業所・企業の経済活動を全国のおよび地域的に明らかにすることを目的とした調査です。

5月下旬から調査員が各事業所に調査票を届けます。調査の意義と重要性にご理解とご協力をお願いします。
調査対象 全国すべての事業所・企業

※24時間いつでも都合の良い時間に回答できる「インターネット回答」を、ぜひ利用してください

地域のものづくりを応援！ものづくり就職奨励金交付制度

市では、市内の製造業に就職した人に、奨励金を交付しています。対象企業に就職した人はぜひ利用してください。また、対象企業の皆さんは、求人活動のPRポイントとして制度を活用してください。

制度概要 市内の製造業に就職して、1年間継続して就業した人(以下のいずれかに該当する人)に、10万円を交付

- ①中学、高校、大学などを卒業した後、1年以内に就職し、市内に住所を有する人
- ②Uターン、Iターンで本市へ転入した日から1年以内に就職した35歳未満の人で、市内に住所を有する人

申請方法 就職後1カ月以内に商工観光課に認定申請書(市公式ホームページからダウンロード可)を提出

問い合わせ 商工観光課☎53・9705

ちち★ははサポートクラブ
母と子の家児童発達支援センター☎53・2603

県発達障害児者支援センター「スクラム福井」と市では、発達障がいの子どもの育てている人が集い、学校のことなどを自由に語り合い、情報交換を行う「ちち☆ははサポートクラブ」を開きます。

とき 6月25日㊤
10時～12時

ところ サンサンホーム小浜(遠敷)
参加費 無料

ひとり親家庭の巡回就業相談
子ども未来課☎64・6013

ひとり親家庭の母等の自立促進を目的に、就業相談や求人情報の提供などの就業支援を行います。

とき 6月30日㊤13時～15時
ところ 若狭健康福祉センター(四谷町)

交通災害等遺児就学支度金
高校入学時まで拡充
子ども未来課☎64・6013

県では、生計をともにした父や母、未成年後見人を交通事故などで亡くした子どもが、高等学校に入学するときに、その保護者に就学支度金を支給しています。

対象 市民税の所得割が課税されていない世帯

申請期限 7月5日㊤

肝炎ウイルス検査無料クーポン券を送付
健康管理センター☎52・2222

肝炎ウイルス検査の無料クーポン券を対象者に送付しています。

対象者 平成27年4月2日～28年4月1日に、40・45・50・55・60歳になった人で、以前に肝炎ウイルス検査を受けたことがない人

※券裏面の日程表を参照し、健康管理センターまで申し込んでください

児童手当「現況届」の提出
子ども未来課☎64・6013

児童手当を受けている人は、年1回の「現況届」の提出が義務付けられています。

内容 現受給者が6月分以降も引き続き受給要件を満たしているかを確認するため、前年所得や養育状況などを確認します

提出期限 6月30日㊤※現況届は6月中旬に送付します

※現況届を提出しないと6月分以降の児童手当の支給ができなくなります。詳細は現況届に同封のリーフレットを参照

がん検診医療機関の追加・修正
健康管理センター☎52・2222

●杉田玄白記念公立小浜病院(大手町) 胃がん検診が受けられます。対象年齢、費用詳細については確認事項があります。希望する人は、電話または窓口で問い合わせてください

●杉田玄白記念公立小浜病院(大手町) 若狭高浜病院(高浜町)

乳がん検診は、マンモグラフィに加え、視触診も併せて受けることができます。受診料金は変わりません

●田中整形外科医院(千種一丁目) 大腸がん検診が受けられます

◆健康・福祉◆

生活習慣病検診
健康管理センター☎52・2222

とき 6月6日㊤、10日㊤、14日㊤、22日㊤、28日㊤、30日㊤

ところ 健康管理センター(南川町) ※10日㊤は中名田公民館、14日㊤は、松永公民館、22日㊤は、田烏漁業組合、28日㊤は、宮川公民館

内容 特定(基本)健診、がん検診(肺・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺)、C・B型肝炎ウイルス検査、骨検診 ※10日、14日、22日、28日は子宮頸がん・乳がん検診なし

※検診日の7日前までに申し込んでください

※特定健診は、加入の健康保険者が発行した受診券が必要

生活習慣病検診(土曜)
健康管理センター☎52・2222

平日に受診できない人は、この機会にぜひ受診してください。

とき 6月18日㊤
ところ 健康管理センター(南川町)

内容 特定(基本)健診、がん検診(肺・胃・大腸・乳・前立腺)、C・B型肝炎ウイルス検査、骨検診 ※子宮頸がん検診なし

※検診日の7日前までに申し込んでください

歯周病検診
健康管理センター☎52・2222

対象 本年度40歳、50歳になる人

期間 10月31日㊤まで
ところ 指定歯科医療機関

費用 300円
※申し込みは健康管理センターへ

つきイチ『バラエティー』
文化会館☎53・9700

市文化協会では、文化活動に親しんでもらおうと、毎月1回「つきイチ『バラエティー』」と称して発表会(無料)を開いています。

とき 6月22日㊤
12時20分～13時

ところ 庁舎市民ホール(大手町)
内容 正派邦楽会「雅会」の箏二重奏。雅秀&雅輝が初ライブに挑戦



古文書に親しむ講座(全6回)
働く婦人の家☎52・7002

若狭地区に残る文書を中心に、「変体がな」や「くずし字」などを学び古文書に親しむ講座です。

とき 6月18日㊤、7月16日㊤ほか いずれも13時30分～15時

ところ 働く婦人の家(大手町)
内容 若狭の古文書、梅田雲浜と安政の大獄など

講師 中島嘉文さん(県史編纂担当)、宇佐美雅樹さん(県文書館主任)、有馬香織さん(県立若狭歴史博物館学芸員)

料金 500円(資料代)



市立図書館

今月のイベント



しりつとしゃかんおはなしかい

とき 6月11日㊤
①10時30分～
②11時～
③14時30分～

内容 ①0～2歳向け
②③3歳以上向け

おばま児童文学会「風夢」のおはなしかい

とき 6月25日㊤
11時～

※場所はいつでも市立図書館(白鬚)

■問い合わせ 市立図書館☎52・1042



募集

小浜美郷小学校

校歌の歌詞・校章デザイン

小浜東部地区の松永・国富・遠敷・宮川の4小学校を統合し、平成31年4月に、新たに開校する『小浜美郷小学校』の、校歌の歌詞と学校のシンボルとなる校章デザインを募集します。

【応募資格】

市内外を問わず誰でも応募できます

【応募方法】

指定の応募用紙に必要事項を書いて、1作品ごとに持参または郵送してください

【募集期間】

6月1日(水)～7月29日(金)まで(当日消印有効)

【賞/副賞】

最優秀賞各1点(賞状および2万円相当の副賞)

【選考発表】

平成28年10月(予定)

※詳しくは市のホームページをご覧ください

■問い合わせ 教育総務課 ☎ 64・6032

嶺南広域行政組合

組合事務所が小浜に移転

平成27年4月30日付けで、嶺南広域行政組合の管理者が敦賀市長から小浜市長へ交代したことに伴い、平成28年4月1日に組合事務所が小浜に移転しました。

【概要】

敦賀市、小浜市、美浜町、若狭町、おおい町、高浜町の2市4町で構成する、嶺南地域の活性化推進や公共交通機関の利用促進などの事務を共同処理する組織。平成9年7月設立。

【組織】

管理者 松崎晃治
事務局長 西田雅志
事務局次長 中石達朗
ほか事務局職員4人

【新住所】

大手町5番31号(中央公民館内)

■問い合わせ 嶺南広域行政組合 ☎ 64・5501

お知らせ

募集

企業誘致のための
遊休地を探してます

市では、企業立地に活用可能な遊休地などの情報を収集・登録しています。

登録した情報は、市内への立地を検討する企業に紹介します。

さらに、現在使用中の土地や建物であっても、今後、ほかの人の使用が可能となることがあれば、その情報も収集しています。

次の要件を満たす遊休地や空き事務所、空き工場、空き倉庫などがあれば、ぜひ、お知らせください。

市民の皆さんの協力をお願いします。

【要件・面積】

遊休地 2,000㎡以上 / 区画
空き事務所・空き工場・空き倉庫
延床面積 300㎡以上 / 棟

【その他】

入手した個人情報の取り扱いについては、市個人情報保護条例に基づき、適正に処理します。

■問い合わせ 商工観光課 ☎ 53・9705

福井県大気汚染情報

PM2.5の注意喚起にご用心

県では、平成26年度から、人体に影響を及ぼす大気中の微小粒子状物質「PM2.5」の注意喚起を実施しています。

小浜市を含む県内9カ所で「PM2.5」の濃度を測定しています。測定値が基準を超えると予測される場合は、県内全域に注意喚起を行います。

【注意喚起基準】

日平均70μg/m³を超えると予測される場合

【注意喚起方法】

防災無線で市内に放送します。幼稚園、小学校、老人介護施設などはFAXと電話で連絡します。※注意喚起はその日の朝に出される予定で、当日のみ有効です。

【対処方法】

- ①不要な外出や屋外での長時間の激しい運動は控える
- ②換気や窓の開閉は必要最小限にする
- ③特に、呼吸器系、循環器系に疾患のある人、小児、高齢の人は、体調に応じて慎重に行動する

※詳細情報は、「福井県大気汚染情報」(<http://www.erc.pref.fukui.jp/tm/>)で確認

■問い合わせ 環境衛生課 ☎ 64・6016

注意

統計調査員

市民協働課 ☎ 64・6009

市では、総務省や経済産業省など、国の各省庁が実施する統計調査の調査員を募集します。

対象 市内在住で、統計調査業務に関心があり、忠実かつ責任感のある人

登録期間 調査員として登録後2年間

申込期限 6月24日(金)

児童クラブ夏休み会員

子ども未来課 ☎ 64・6013

夏休み期間中、仕事などで保護者が家庭にいない小学生を対象に、定員に余裕のある児童クラブで会員を募集します。

対象 宮川・口名田・松永の各児童クラブ

期間 7月21日(水)～8月31日(水)

開設日 毎週月曜日～金曜日(8月13日～15日を除く)

定員 各3人程度

料金 16,000円

締切 6月30日(水)

※校区外も受け付けます

※各児童クラブの受け入れ人数に限りがあるため、全員の要望に応えられない場合があります

季節の調理体験～6月編～

御食国若狭おばま食文化館 ☎ 53・1000

6月のテーマは、「イタリア料理」です。

とき 6月6日(日)、18日(土)、20日(日)

いずれも10時～13時

ところ 食文化館(川崎3丁目)

内容 フォカッチャ、ミラノ風カツレツ、ミネストローネ、パンナコッタ

定員 各先着30人

参加費 700円

申込期限 実施日の3日前

蛇口のパッキン無料取り替え

上下水道課 ☎ 64・6029

6月1日からの水道週間にちなみ、蛇口のパッキンの無料取り替えサービスを行います。

蛇口から水がポタポタ漏れる場合は、連絡してください。ただし、水と湯が同時に出る混合栓など、取り替えできない場合があります。申し込みの際に蛇口の種類を知らせてください。

また、自分で交換する人には、無料でパッキンを渡します(1人5個まで)。

※数に限りがあります。去年申し込んだ人はご遠慮ください

申込期限 6月7日(水)

取替予定 6月中旬以降

介護職員初任者研修

子ども未来課 ☎ 64・6013

母子家庭の母または父子家庭の父および寡婦を対象に介護職員初任者研修の受講者を募集します。

とき 8月20日(土)～12月3日(土)までの土、日、祝日

ところ 講義：若狭町歴史文化館(若狭町市場)

実技：若狭医療福祉専門学校(美浜町大藪)

定員 20人

受講料 テキスト代7,000円

募集期間 6月1日(水)～7月20日(水)

申込先 子ども未来課

放送大学2学期学生

放送大学福井学習センター ☎ 0776・22・6361

放送大学は文部科学省と総務省が設置した通信制大学です。

「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができ、さまざまな世代や職業の方が学んでいます。

ところ アオッサ7階(福井市)

学生数 約630人

募集期間 6月15日(水)～9月20日(水)

募集

水上安全法救助員養成講習会

市民福祉課 ☎ 64・6011

日本赤十字社福井県支部小浜市地区では、「赤十字水上安全法救助員養成講習会」の受講生を募集します。

水の事故を防ぎ、命を守るため、プールや海での留意点、水中からの救助法や応急手当などを学びます。

とき 6月11日(土)、12日(日)

いずれも13時～22時

6月13日(日) 9時～17時

ところ 若狭総合公園温水プール(北塩屋)

対象者 15歳以上で一定の泳力のある人

受講料 教本・保険代2,200円

その他 筆記用具、昼食(夕食)を持参。水泳と運動ができる服装で参加

申し込み 6月6日(日)までに市民福祉課へ

若狭マリニピアで花火をあげませんか

商工観光課 ☎ 64・6020

若狭マリニピア実行委員会では、「市民の花火」として皆さんに花火の購入をお願いしています。協力いただいた人は、新聞折り込みチラシと当日打ち上げ前の案内放送で、メッセージ付きで案内します。お祝いなど記念のメッセージを花火に託してください。皆さんの参加を待っています。

金額 5,000円～

申込方法 実行委員会窓口(商工観光課)まで、メッセージと一緒にお待ちください

受付期限 6月27日(日)

若狭マリニピア花火大会

とき 8月1日(日)20時20分

ところ 白鳥海岸一帯

「海の上では、常に確かな判断が求められます。判断が遅れるとお客様に危険が及びることになります。迷わず判断することがとても大事なんです」と、頼もしく話します。「最初は、

自分の判断が合っているのかどうかと不安がつきまといました」と、精神面で苦労したことを明かしてくれました。船の運航は、人の命を預かるので、「一に安全、二にサービス、最後に効率」と、その順番を間違えてはならないと厳しく教えられたそうです。今は海技士の資格取得に挑戦中で、「お客様から『ありがとう』と声をかけられたとき、やりがいを感じます」と語り、「今後は経験を積んで、乗客の満足度を上げていきたい」と、舵

迷わず判断することが大事



勤務先 (株)そともめぐり
池田 幸暉 さん
(22歳・神宮寺)

小浜中学校陸上部キャプテンの川端くん。女子キャプテン、副キャプテンと一緒に、部活を引っ張ります。川端くんが、本格的に陸上を始めたいきっかけは、小学校6年生のとき。「陸上大会で、百メートル走と幅跳びの部に出場して、競技の楽しさを知りました」と、教えてくれました。中学校では迷わず陸上部に入部。先輩が練習する姿を見て、ハードルへの挑戦を決めます。「柔軟性が必要な種目なので、体がやわらかい僕に合っています」と、笑顔を見せます。

陸上の魅力を探ると、「少しずつですが速くなっていくのがうれしい」と、話す川端くん。「練習を重ねて、それまでの自分の記録を超えていきたいです」と、意欲をみせました。部活がないときは、家族と、テレビドラマを観るのがリラクソスの秘訣。前向きに生きる主人公の姿に、元気をもらえるそうです。今後の目標は、頼られるキャプテンになること。「自分が率先して、何でも一生懸命に取り組んでいきたいです」と、力強く話してくれました。

自分の記録を超えていきたい



陸上部 キャプテン
川端 晃生 くん
(小浜中学校3年生)

拉致問題解決へ思いを一つに

平成10年の『救う会福井』発足当初から活動に参加してきた森本さん。これまで会長を務めてきた池田欣一さん(93歳・荒木)の退任を受けて、4月から新会長に就任しました。森本さんと拉致被害者の地村保志さんとは小学校からの同級生。「昭和53年に地村さん夫妻が行方不明になったときは、若狭一円を探してまわりました」と、当時を振り返ります。会の署名活動や集会は、国を動かし、平成14年に地村さん夫妻、16年には子ども3人の帰国へとつながります。

「無事であってほしいという思いだけで活動してきたので、小浜に帰ってきたときは本當にうれしかったです」と、話す森本さん。一方で、拉致被害者全員が帰るまで問題の解決にはなりません。時が経つことで、この問題が皆さんの記憶から風化してしまうことが心配です」と、進展をみせない拉致問題の状況を危惧します。これからの活動については、「署名など地道なお願いを続けることで、国民みんなの思いを一つにしていきたいです」と、意欲を見せました。



北朝鮮に拉致された日本人を救う福井の会 会長
森本 信二 さん
(60歳・下加斗)

バレーは母のアドバイスが一番

小浜第二中学校男子バレーボール部で司令塔セッターを務めるキャプテンの福田くん。「自分の繋いだトスがアタックで決まるときの快感がたまらない」とバレーの魅力を話してくれます。「小学5年のとき、お母さんのバレーの練習に付いていって、ボールに触らせてもらったのが始まりです。とても楽しかったのを覚えています」と、バレーとの出会いを振り返ります。中学に入ると、迷わずバレー部に入部。漫画「ハイキュー!!」のセッターにあこがれ、1年の秋、新チーム編成のとき、志願し

てセッターを任せられました。目標にしているのは、正確でぶれないトスを上げる全日本代表のセッター、深津英二選手(パナソニック所属)。将来は、先生になって、母校でバレーを教えたい」とバレーに情熱をかけています。キャプテンとして、団結力を高めようとチームの和を一番に、先輩後輩が自由に意見を言える雰囲気づくりに努めています。行き詰まったときは母親が一番の相談相手。バレーの先輩としての、「お母さんのアドバイスが一番の頼り」ときっぱり答えてくれました。



男子バレーボール部 キャプテン
福田 涼介 くん
(小浜第二中学校3年生)

にじょういん さぬき
二条院讃岐ロード (広域基幹林道若狭幹線)



【問い合わせ】
 若狭おばま観光案内所 ☎ 52・2082

【アクセス】
 阿納尻から若狭町まで続く林道
 JR 小浜駅から車で、撮影スポット
 まで 30 分
 (文と写真: 地域おこし協力隊 ハラ)

久須夜交流センター (阿納尻) の駐車場入口の奥には、山へ続く林道「二条院讃岐ロード」があります。その道をひたすら登り続けると、周囲が開けた小さな広場へと出ます。晴れた日のその場所からは、海の向こうが見えそうなくらい、空と海が同化するくらい、澄んだ景色を拝むことができます。

車の音も、まちの音もしないこの場所は、ぼーっとするには最適な場所です。林道であることから、広場までの道は狭く、天候が悪かった翌日は道に小枝や小石があり少々危険です。またところどころ舗装されていない箇所があるので、注意してください。

天気の良い日、ぼーっとしたい日、ふと肩の力を抜きたいときに、ぜひ足を運んでみてください。

健康長寿のススメ

毎ベジファースト5 (ファイブ) ②

野菜を先に食べると糖尿病予防に効果

野菜を先に食べると、血糖値の急激な上昇を遅らせインスリンの分泌量も節約されて、糖尿病の発症予防になることをご存じですか。特に糖分が少なく食物繊維の多い野菜から食べると効果的です。

人の体は、食後にエネルギーとなる糖や脂肪、タンパク質が消化されると血液中に吸収され、血糖値が上昇します。すると、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンがこの上昇を抑えバランスを取ります。インスリンは、肥満や加齢などに伴って、分泌速度が遅くなったり、量が少なくなったりします。こうなると、食事の量や内容に合わせて分泌ができず、血糖値をすぐに下げることができなくなります。食後は高血糖の状態が続きますので、さらに分泌能力が衰えると糖尿病になります。

インスリンの分泌能力には限りがあります。一度に大量に分泌が必要な食べ方をしないことが大切です。

■インスリン分泌能力を知る

分泌能力が正常かどうかは、「食後」に「特定健診」を受け、血糖とHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)という2つの糖検査を受けると確かめることができます。

最初の5口は野菜から…糖分の少ない野菜がおすすめ



最初の5口に控えたい野菜

糖分が多い野菜や甘煮調理の野菜は後から食べましょう。例) カボチャ、とうもろこし、レンコン、タマネギ、サツマイモ・ジャガイモなどのイモ類

● 次回のテーマ
 毎ベジファースト5 ③
 「腸内環境を整える」

■ 問い合わせ 健康管理センター
 ☎ 52・2222

イチ押し! トップアスリート

夢は家族3世代でボウリング



小浜市ボウリング連盟
石田 ふじ子 さん (54 歳・口田縄)
福谷 裕子 さん (31 歳・口田縄)

石田ふじ子さん (写真左) と娘の福谷裕子さん、小浜市ボウリング連盟で活躍する親子ボウラーです。石田さんは、15年前から本格的に競技を開始。母親の影響で、11年前から始めた福谷さんと一緒に、週2回、敦賀市のボウリング場で腕を磨きます。

市内在住の女性4人のチームで、県大会にも出場。「昨年は12チーム中7位だったのでより上位を狙いたいです」と、話す石田さん。福谷さんも、「産休明けでブランクがありますが、チームで一番若い自分が頑張りたいです」と、意欲を示します。二人に競技の魅力を尋ねると、「ボウリングは生涯スポーツ。何歳からでも始められます。身近に親しめるところがあるので、小浜にボウリング場を復活させてほしいですね」と、笑顔で話してくれました。

アート&カルチャー

秋の大輪に日々丹精を込める

約60年の歴史ある小浜市菊友会。現在、60代から80代の11人の会員が、市の菊花展をはじめとして、県内や北陸地域で開かれる菊花大会への出展を目標に、菊作りに励んでいます。

会長の伊崎浩三さんは、「丹精込めて育てた菊が秋に大輪を咲かせたときの快感が忘れられないんです」と、菊作りの魅力を話します。

4月の差し芽の講習会、5月の菊苗交換会と鉢上げ講習会、6月の鉢換え講習会と続き、7月から8月にかけて会員宅を回る巡回研修を行います。そ



上 / 会長の伊崎さん(左)と事務局の芝田さん(右) 下 / 昨年の活動報告書



小浜市菊友会 会長
いざき こうぞう さん
 (79 歳・上加斗)

して10月、出展の仕立て方講習会で仕上げの段階を迎え、完成を目前に手を抜けない毎日になるか。会員同士の情報交換がやる気の素となり、「県の大会でトップに輝く大輪を咲かせた人もいますよ」と、とても楽しそうです。

「手をかければかけただけの効果があるんです。これからの夏場の水やり、病気や虫との戦いも秋の大輪で帳消しになります」と笑みがこぼれます。

会では、会員を募集中です。菊作りに興味がある人は、伊崎さん ☎ 52・5165まで気軽にご連絡ください。

■今月の子育て情報



子育てサロン※

とき：21日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(子育て相談会やクッキングなど、育児のアイデアを提供しています)

のびのび広場※

とき：1日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(季節に応じた活動や運動会など、子どもが楽しむ親子遊びを提供します)

誕生会※

とき：29日㊄
9時30分～11時30分
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(今月に誕生日を迎えるお子さんのお祝いを楽しみましょう)

親子運動遊び※

とき：17日㊄
10時～11時
ところ：子育て支援センター
☎同 ☎56・3386
(子どもと一緒に体を動かします。親子でふれあい遊びを楽しみましょう)

スクスク元気っ子教室

とき：21日㊄
10時～10時30分受付
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(離乳食の試食や相談、発育・発達、育児など子育て相談。身体計測も可能です)

子育てワイワイ広場

とき：13日㊄、27日㊄
9時30分～12時
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(未入園児の親子に2階和室を開放しています。交流の場としてどうぞ)

母乳育児相談

とき：13日㊄、27日㊄
10時30分～11時30分
ところ：健康管理センター
☎同 ☎52・2222
(助産師による母乳育児の相談です。体重、哺乳量の測定も可能です)

■体や心・生活の相談



エイズ・肝炎相談、検査

とき：6日㊄、20日㊄
9時～10時30分
HIV検査普及週間行事 夜間検査
とき：2日㊄ 17時～19時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300

精神保健相談※

とき：7日㊄、21日㊄
9時30分～11時30分
ところ：若狭健康福祉センター
☎同 ☎52・1300
(心の病気や、心の悩みに関する相談に応じます)

身体障がい者相談

とき：17日㊄
13時～14時
ところ：公立小浜病院 高齢・障がい者元気支援課
☎64・6012
(身体障害者手帳の交付・更新、補装具の交付などの相談に応じます)

カフェ・ぽ〜れ

とき：9日㊄
13時30分～15時
ところ：花水木(鹿島123)
☎坂上和代さん ☎090・5686・4147
(認知症など高齢者の相談窓口です ※参加費100円)

特設人権相談

とき：15日㊄
13時～15時
ところ：働く婦人の家 法務局 ☎52・0238
(悩みごと、心配ごとのある人は、気軽に相談してください)

心配ごと相談

とき：8日㊄
13時～16時
ところ：サン・サンホーム 小浜
☎同 ☎56・5802
(介護など生活での困りごとの相談に応じます)

家庭教育相談

とき：18日㊄
14時～17時
ところ：中央公民館
☎同 ☎53・1336
(青少年との親子関係や家庭における悩みなどの相談に応じます)

■法律や行政・その他の相談

相談名	開催日	時間	ところ	問い合わせ
結婚相談	2日㊄、16日㊄	9時30分～11時30分	文化会館	子ども未来課 ☎64・6013
弁護士無料相談※	7日㊄	13時30分～15時	働く婦人の家	福井弁護士会 ☎0776・23・5255
出張年金相談※	9日㊄、23日㊄	10時～12時、13時～15時	文化会館	敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
高齢者専門相談(法律)※	16日㊄	13時～16時	嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター	同 ☎52・7832
行政相談	21日㊄	13時30分～14時30分	市役所 401 会議室	市民協働課 ☎64・6009

※印のついた相談などは要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります。

■今月の休館日

市立図書館

7日㊄・14日㊄・19日㊄・21日㊄・22日㊄・28日㊄
※6階一般フロアのみ、空調設備取替工事のため、6月9日㊄まで臨時休館します

若狭図書学習センター

6日㊄・13日㊄・20日㊄・23日㊄(2Fのみ)・27日㊄

温水プール

6日㊄・13日㊄・20日㊄・27日㊄

市民サービスコーナー

19日㊄

■今月の休日当番医

5日㊄：★田中整形外科医院

(千種1丁目)
☎52・6868

12日㊄：★しんたにクリニック

(駅前町)
☎64・5321

19日㊄：★山手医院

(山手一丁目)
☎53・5511

26日㊄：中山クリニック

(多田)
☎56・5588

※★印のついた当番医の日は、小児患者は、杉田玄白記念公立小浜病院(大手町)で小児科医が休日診療を行います

■今月の窓口

税の納付窓口

休日納付窓口
26日㊄：9時～17時
夜間納付窓口
30日㊄：20時まで

1階窓口延長

毎週金曜日(祝日・年末年始を除く)、市役所1階の窓口(市民福祉課、高齢・障がい者元気支援課、子ども未来課、税務課、環境衛生課、会計課)では、執務時間を18時30分まで延長しています。

au お得な情報をおとどけ！

facebook 「エコーショップおばま」で検索

twitter @aushopobama

au ショップ小浜 ☎0800-7002298

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム

AIVIX
株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

旧端午(菖蒲)の節句
実施日：6月4日(土) 5日(日)
無病息災の祈願に...

菖蒲湯

福井県大野産の菖蒲を浮かべます。
上品な葉の爽やかな香気もお楽しみください。

小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま
食文化館内
TEL0770-53-4126
お食事だけの利用もできます！

ゴミ分別・収集日通知無料アプリ
ごみサポ!

完全無料
分別検索 アラーム通知

スマホ全対応
自治体・学校教育機関向けソリューション・データセンター
福井システムズ株式会社
若狭営業所
小浜市小浜清滝102 ☎(0770)52-6360
URL http://www.fukui-systems.co.jp/

くつろぐいちばんいいところ
珈琲所 コムザ珈琲店 小浜店

お得なチケット販売中
開店から11時までご注文のお飲物全てにトーストと選べるモーニング無料サービス!!
営業時間/7:00～23:00(ラストオーダー/22:30)
小浜市駅前町13-11(ケーズデンキ小浜店隣)
☎(0770)53-4040・FAX(0770)53-4030

安心と信頼 地元の石屋さん
お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

(有)杉田石材店

お気軽にお問い合わせください
現在、仮社屋で営業しております
▼仮社屋の住所等はこちらです
小浜市和久里15-22-8
☎(0770)56-5212・FAX(0770)56-5215

人の動き(5月1日現在)

・人口 30,216人
(前月比 -11人)
(前年同月比 -246人)
男性 14,728人
女性 15,488人
世帯数 11,912世帯

・異動 転入 118人
転出 123人
出生 21人
死亡 27人

編集後記

●全国広報コンクールで、「広報おばま」が、広報紙・写真の両部門で受賞しました▶広報の取材にあたっては、いつも大変多くの皆さんのご協力をいただいています▶この場を借りてお礼申し上げます▶今月の特集は「地域おこし協力隊」▶取材をしていると、自分が13年前に小浜へ移住した当時を思い出しました▶隊員たちに負けないように、私もフレッシュな気持ちで頑張りたいです(松)

●エンゼルラインを自転車愛好家が駆け上がる記録会にスタッフで参加しました▶好天に恵まれ緑滴る青葉の中を阿納尻三差路交差点付近からスタート▶海沿いを快適に飛ばすのもつかの間、激坂に突入▶後は、もがき苦しみ、息ゼイゼイでペダルを回し、トップは30分を切るタイムで頂上へ到達▶達成感はずいぶん違うなと感じました▶年がいても無く次は自分も...と思った瞬間です(橋)

今月の一枚

初夏の風に吹かれて

ワカメ干し(犬熊)



犬熊海水浴場沿いで、初夏の風物詩の若狭ワカメ干しが行われていました。天日を浴びて、浜風を受けることで、最高の乾燥ワカメができあがります(5月12日撮影)

広報おばま
No.750 平成28年5月25日(水)発行

発行 福井県小浜市
〒917-8585

小浜市大手町6番3号
企画部市民協働課 ☎64・6009 FAX53・0742

ホームページ <http://www1.city.obama.fukui.jp/>
電子メール kouhou@city.obama.lg.jp
印刷 若越印刷(株)小浜営業所

|| ホットフォト Hot Photo

まちのニュースを写真でお届けします!



5月1日に、「まちの駅」(白鬚)がオープン
上/まちの駅・道の駅・海の駅をつなぐラウンドバスの出発式で運転手らに花束を贈呈
左上/まちの駅オープンを記念して、放生祭の山車、大太鼓、神楽、獅子が演し物を披露
左下/主要施設の芝居小屋「旭座」で落成式